

第5学年1組 社会科学習指導案

1 単元 工業生産を支える人々 ～自動車づくりにはげむ人々～

2 指導観

- 本学級の子どもは、どのようにして自動車がつくられるかなどに関心をもち始めている。資料活用の技能に関しては、必要な情報を集め、読み取る力が付いてきている。また、複数の事実を比較・関連付けながら考え、表現する力など、思考・判断・表現の能力については個人差が大きい。
- 本単元は、我が国の工業生産について、様々な工業製品が国民生活を支えていること、我が国の各種の工業生産や工業地域の分布、工業生産に従事している人々の努力、工業生産を支える貿易や運輸の働きなどを調査したり、地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにすることをねらいとしている。
- 指導に当たっては、次のような手立てをとる。

【着眼1】 自ら問いを見だし、主体的に問題を解決する学習展開の設定

段階	自ら問いを見だし、主体的に問題解決する学習展開の工夫
つかむ③	【問い】 ○ 自動車づくりにたずさわる人々は、どのようにふうや努力をしているのだろう。 【問いを見いだすための工夫】 ○ 1日の生産台数の資料提示
さぐる・まとめる④	【問題解決の手立て】 ○ 日産自動車九州工場の見学 ○ 分かったことを出し合う、考えの交流
生かす②	【問い】 ○ これからの自動車づくりには、どのようなことが求められているだろう。 【問いを見いだすための工夫】 ○ 高齢者ドライバー事故の資料提示

【着眼2】 対話を促す学習活動の工夫

工場で働く人々の工夫について、生産性を高めることに加え、持続可能な社会の実現を視野に、見方・考え方を働かせ、自己の考えを広げ深めることができるように「なぜ生産に関係のないような工夫をしているのだろう。」と問いを焦点化する。その際、ホワイトボードを活用して表現するなどの学習活動を工夫する。

【着眼3】 評価を生かした指導の工夫

子どもの思考・判断・表現の現状を見取ることができるように、ノートなどの表現物を基に把握する。全ての子どもが主眼を達成することができるように、声かけ計画表を基に個に応じた指導を行う。

	声かけの具体例
考えをもつための声かけ	○ 友達の見解の中から、自分の考えに近いものを選びましょう。 ○ 黒板のキーワードを使って、考えてみましょう。 ○ この工夫をすることで、工場の人にとってどんなよいことがありますか。
考えを広げ深めるための声かけ	○ 友達のこの考えについては、どう思いますか。 ○ どうして、そのように考えましたか。理由も書きましょう。


3 小単元の目標

社会的事象への関心・意欲・態度	○ 我が国の工業生産の様子に関心をもち、それを意欲的に調べ、国民生活を支える我が国の工業生産の発展を考えようとする。
社会的な思考・判断・表現	○ 我が国の工業生産の様子と国民生活とを関連付けて、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考え適切に表現することができる。
観察・資料活用の技能	○ 我が国の工業生産の様子を的確に調査したり、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめることができる。
社会的事象についての知識・理解	○ 我が国の工業生産は、国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解する。

4 本時の学習 令和元年 10月4日(金) 第5校時

於：5年1組教室

- (1) 主眼 工場で働く人々の工夫について調べたことを出し合い、一見生産性を高めることにつながるような工夫の意味を考える活動を通して、生産性を高めることに加え、「持続可能な社会の実現」を新たな見方として、工場で働く人々の工夫について、自己の考えを広げ深めることができるようにする。
- (2) 準備 食堂の写真 廃棄物を分別している写真 ホワイトボード など
- (3) 展開

主な学習活動・内容	○ 指導・支援上の留意点 【観点】評価規準（評価方法）
<p>1. 前時の学習を想起し、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○ めあてをつかむことができるように、前時のノートに基づき振り返る活動を設定する。</p>
<p>(めあて) なぜ工場で働く人々は、さまざまな工夫をしているのだろう。</p>	
<p>2. 調べたことを出し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>働く人のミスやけがを防ぐために、受けもつ作業を入れかえているよ。</p> </div> <p>3. 工場で働く人々の工夫の意味を考え、表現する。</p> <p>(1) 個人で考えを書く。</p> <p>(2) 小グループで話し合う。</p> <p>(3) 自分の考えを再構成する。</p> <p>(4) 学級全体で話し合う。</p>	<p>○ 調べたことを可視化・共有化することができるように、子どもの発言を板書する。その際、後に見方・考え方を働かせることができるように「生産性を高める工夫」と「持続可能な社会の実現の工夫」に分類・整理し、意図的に板書する。</p> <p>○ 生産性を高めることに加え、持続可能な社会を新たな一面としてとらえ、考えることができるように「なぜ、生産に関係のないような工夫をしているのだろう。」と問いを焦点化する。</p> <p>○ 子どもの考えを見取ることができるように、ノートやホワイトボードを用いて表現する場を設定する。また、声かけ計画表を基に見取ったことを生かして個に応じた指導を行う。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>個人</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>グループ・全体</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>個人</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>働く人が、働きやすくするために工夫していると思うよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>受けもつ作業を入れかえることで、ミスやけがを防いで、注文された車を正確につくることができると思うよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>休憩があると、その分集中して車をつくることができるから、効率もよくなるね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>働く人や環境のことを考えることで、正確に車をつくらったり、資源を大切に生産し続けたりすることができるね。これらの工夫も、車を生産する上で大切なんだね。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; margin: 10px auto;"> <p>部品を再利用すると、資源を大切にできるから、これからは自動車をつくり続けられると思うよ。</p> </div>	
<p>4. 本時の学習をまとめ、振り返り、次時の学習について話し合う。</p>	<p>○ 本時の学習をまとめ、振り返ることができるように、めあてと結んで分かったことや考えたことなどを書く時間を十分に確保する。</p> <p>【思】 生産性を高めることに加え、「持続可能な社会の実現」を新たな見方として、工場で働く人々の工夫について、自己の考えを広げ深めている。</p> <p style="text-align: right;">(記述分析)</p>
<p>(まとめ) 工場では、生産性を高める工夫や持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな工夫をしている。</p>	